

Anniversary!!



ひこにゃんの あゆみ

2006年4月13日に「国宝・彦根城築城400年祭」のPRキャラクターとして誕生してから20年間、そのかわいらしい容姿と、のんびりとした動きが「ゆるい」と人気になり、彦根の大人気キャラクターとして活躍してきました。

今回の特集では、20年間のひこにゃんの活躍を振り返り、その裏で奮闘してきた人たちの思いと情熱をご紹介します。

問 エンタテインメント課
☎ 30-6153 FAX 24-9676

2006年

2006年4月13日、「国宝・彦根城築城400年祭」のPRキャラクターが、全国1167点の応募から「ひこにゃん」と命名されて誕生。さまざまなイベントに出演し、翌年の400年祭をPRしました。日本橋高島屋の大近江展で大ブームを巻き起こし、ファン殺到で人気が発火。400年祭を盛り上げ、全国イベントでご当地キャラクターの先駆者として活躍を広げました。

当時を知る市の職員がひこにゃんの誕生を振り返ると、一様に「ここまでの存在になるとは思っていなかった」と話します。

2008年

「ゆるキャラまつり in 彦根」(現ご当地キャラ博)が初開催されました。全国のゆるキャラが大勢集結し、彦根城下でイベントを盛り上げ、ゆるキャラブームの火付け役として全国的な注目を浴びました。



▲当時のポスター

2010年



ファンクラブが発足。発足式には全国のファン有志がふるさと納税会員として参加し、ひこにゃんと記念撮影や握手会を実施しました。ご当地キャラ文化の新たな絆を象徴するイベントとなりました。



▲豪徳寺(世田谷区)の招き猫。彦根藩主・井伊直孝公を雷雨から救ったと伝えられており、ひこにゃんのモデルとなっています。

2014年

東日本大震災で被災した福島県富岡町に彦根市が復興支援をしていた縁から「富岡町復興への集い2014」に特別ゲストとして参加。町長に義援金を手渡し、被災地の心に希望を届けました。



2018年

LINEスタンプ「ひこにゃんといいのすけ」をリリース。スマートフォンを通じて全国のファンの日常会話に登場するようになりました。

ひこにゃんのかわいらしい仕草が詰まったスタンプは、若い世代を中心に人気を集め、これまでイベント会場や紙媒体が中心だったひこにゃんのPRを、オンラインへと大きく広げる役割を果たしました。



2023年

ひこにゃん公認ライバルキャラクター「わるにゃんこ将軍」が登場。さらに四番町スクエアにひこにゃん・わるにゃんこ将軍グッズを豊富に取り揃えたひこにゃんショップがオープンし、話題を呼びました。



2024年

「ひこにゃんえほん」が発売。原作者もへろんさん描きおろしの心温まる物語が子どもから大人まで好評でした。さらにNintendo Switchゲーム「おさんぽひこにゃん」をリリース。ゲーム展開で新たなファン層にもアプローチし、ご当地キャラの進化を印象づけました。



2026年は、20周年記念事業がもりだくさん!

01. 誕生日までの3日間、イベントがめじろ押し

- ▶ 4月11日(土) 生誕20周年記念パーティー @ひこね市文化プラザ
- ▶ 4月12日(日) 記念イベント @四番町スクエア
- ▶ 4月13日(月) 誕生日セレモニー @彦根城内

ひこにゃんファンクラブ名誉会長大橋悠依さんによる、観光大使就任記念講演会 @ひこね市文化プラザ

02. ひこにゃんえほん〜とくべつへん〜が登場

国税庁から、ひこにゃん絵本の新作「よいにゃんことみんなのおこめのおはなし」が20周年を記念して公開されました。

03. たねや・クラブハリエとコラボした商品が発売

ひこにゃん特別パッケージのバームクーヘンやふくみ天平などが、彦根美濠の舎とオンラインで4月1日(水)から一般販売開始です。(オンラインでは予約受付中です)



▲新作絵本



▲特別パッケージの商品
※画像提供: たねや・クラブハリエ



各事業の詳細は、
ホームページをチェック!

